

「ものづくり現場における CAE の導入効果と CAE を有効活用するために必要なこと」

CAE (Computer Aided Engineering) は、ものづくりにおける研究・開発・量産検討等のあらゆる工程において、製品性能や生産技術の評価に使われており、近年では、製品の品質化、高付加価値化、短納期が求められる中で、経験と勘からは提案できない製品が CAE の活用によって開発されてきています。

しかし、CAE は、ツールを導入するだけでは業務に活かすことはできません。解析結果の精度を上げるための実験や検証作業、解析結果を正しく評価できる人材の育成が必要となります。

このたびは、CAE の導入支援に関する豊富な実績を有する講師を招き、CAE に期待できることや有効活用するために知っておくべきことについて実例を交えながら解説する講習会を開催します。

CAE を導入しても使えるかわからない、導入してみたけれど活用できていない、また、より有効活用したい等、ご関心のある方は、ぜひご参加ください。

■日 時 平成30年11月21日(水) 13:30~16:40

■会 場 広島市工業技術センター本館3階研修室
広島市中区千田町三丁目8番24号(駐車場あり)

■講 師 株式会社電通国際情報サービス オートモーティブ事業部 技術第3ユニット
広島技術2部 技術2課
エンジニア 住岡 慎一郎 氏

■内 容

- 1 CAE とは
CAE の変遷、CAE に期待できること等
- 2 CAE 活用事例の紹介
 - (1) 様々な技術課題への CAE 適用事例の紹介
自動車用ドアミラーの振動特性評価、自動車ルーフの樹脂化を目的とした成形性評価、搬送吊り具の軽量化検討等
 - (2) 自動車のエンジンマウント設計(倉敷化工(株))の事例紹介
自動車のエンジンマウントの開発をテーマに、CAE 技術の確立と実務適用の取り組み事例を紹介
- 3 CAE の導入と有効活用のために具体的に必要なこと
CAE 業務の計画策定、CAE 技術の構築、人材育成等

4 質疑・応答

会場での質問を受け付けますが、申込書にて事前にご質問やご相談を頂くことも可能です。質問者のお名前は公表しませんが、事前質問に対して、講習会内で講師から回答してよいという方は、その旨も申込書にご記入ください。

また、個別で回答してもらいたいという方には、講習会後に対応します。

- 定員 40名
- 対象者 CAE をものづくりに活用することに関心のある方
- 参加費 無料
- 持参物 なし
- 申込み方法 別紙の申込書に必要事項をご記入いただき、以下の申込先までFAXかメールでお送りいただくか、以下のサイトよりお申込みください。受付確認のご連絡をさせていただきます。
<http://www.itc.city.hiroshima.jp/koshukai/h30-digital.html>
- 申込締切日 平成30年11月19日（月）（会場の都合により、締切日前に申し込みを締め切る場合もございます。お申込み確認後、参加の可否をお知らせします。）
- 申込みおよび連絡先
公益財団法人広島市産業振興センター工業技術センター（広島市工業技術センター内）
担当：システム技術室 田中真美
〒730-0052 広島市中区千田町三丁目8番24号
TEL：082-242-4170 / FAX：082-245-7199
Eメール：tanaka-m@itc.city.hiroshima.jp（-は、ハイフンです）